

しがきた

大津市立志賀北幼稚園 地域通信 園長 高山 恵美子
TEL 077-592-1178 Mail otsu2734@city.otsu.lg.jp

志賀北幼稚園 教育目標

- し なやかでたくましいからだをもつ子
最後までが んばる気持ちをもつ子
- き らっと光るところを見つける子
- た のしい、うれしいをいっぱい見つける子

2月は大寒波で雪遊びがたっぷりできましたが、バス運行や作品展の日程変更などでご迷惑をおかけしました。3月になり少しずつ春が近づいているのを感じます。5歳児が登園する日も残り少なくなり(修了式は14日です)お別れ会や修了に向けての取り組みが進められています。一緒に過ごした日々を振り返りながら大きくなった自分を感じ、次のステージでもその子らしさが発揮できるよう引き続き支えていきたいと思ひます。



↑いるか組さんに内緒で輪飾りをつくろう。友達とつなぐとなが〜くなったよ。

←誕生会のお楽しみは、先生たちのひなまつり劇。誰が、どこに座って、何をもっているのかな？

今年にアートに挑戦♪ 作品展

2/7~12に開催した作品展には、保護者や祖母の皆様、地域の方々、小学校や大学の先生など217名の方が足を運んでくださいました。作品の前で「ここが〇〇で…」、「これは△△ちゃんがつくって…」と自分や友達のつくったものを説明しおうちの方がその話をにこやかに聞いてくださる姿が微笑ましく、和やかな光景でした。子どもの発想は自由で、ユニークで、ステキがいっぱいです。「こうでなければならぬ」や「上手下手」に捉われず、思いのままにかいたりつくったりすることが楽しめるといいなと思ひます。今年度はシャボン玉の藤原先生(桃山学院教育大学 地域在住)から造形遊びについて職員研修を受け、今までとは違う取組にもチャレンジしました。教師が教材観や指導の幅を広げることが、子どもたちの経験の広がりにつながることを実感しました。回転ずしやクレーンゲーム、小学校グッズなど子どもたちの『今』が溢れる作品展となりました。



「今日はケーキをつくったよ」「ちっちゃ〜(驚)!!」昨日は洗濯干し場とハンガーをつくったそうです。毎日、少しずつつくり進め、クラスで紹介しあってきました。



どんぐり・たんぼぼ広場(0~2歳児親子)の「シチュー」や「雪だるま」も展示されました。



木戸小一日入学ではヒラッキーさんが出迎えてくれました。

ふるさと志賀の取組から

『ふるさと志賀』の取組もいよいよ終盤、5歳児が和邇漁港に行きました。水揚げされた魚(今期は不漁と聞いていたのに、この日はフナや氷魚、イサザ、ブラックバスがいました!)を見たり触れたり、漁師さんのお話を聞いたりしました。琵琶湖の魚が取れない原因として「外来魚」や「ゴミ」の話を聞き、今まで自分たちがしてきたゴミ拾いが琵琶湖の魚を守っていることに気付き、何だか嬉しくなりました。山と里と琵琶湖…水でつながる地域の豊かな自然を大切にす園の文化(志賀北SDGs)が、下学年にも継承されていくことを願っています。



漁師の松井さんから迷路みたいに魚が迷い込む仕掛けの『エリ』という方法で魚を獲ることを教えてもらいました。「触ってみたい」「ツルツルしてる」「なんか匂いがある…」「びわ湖の水が冷たい」見て、触れて、感じて、伝えて…ワクワクと心が動く体験となりました。

いのちのおはなし会

5歳児と保護者(希望者)を対象に、今枝助産師さんを講師に迎え『いのちのおはなし会』(PTA事業)を開催しました。5歳児は、赤ちゃんがお母さんのお腹で少しずつ大きくなる映像をみたり話を聞いたりしました。3kgの赤ちゃん人形をドキドキしながら抱っこしたりもしました。アフリカのマラウイ共和国の子どもたちの暮らしが写真で紹介され、世界中にいろいろな人がいることや今日生きていることが当たり前でないことを教えてもらい、『いのち』や『自分』を大事にするって、どうすればよいかを一緒に考えました。

保護者向けには『“いのち”の現場から伝えたいこと』というテーマで、自分や子どもを守るために情報をもつことの大切さや、性教育は良好な親子関係を築くところから始まるということをお話いただきました。参加した保護者の方からは「日々を大切にしたい」という声が聞かれました。子どもの未来を守るために、できることを一緒に考える学びの場の大切さを感じています。

保護者アンケート・幼稚園評価より

お子さんや幼稚園について21項目のアンケートを実施し、職員の自己評価と合わせて協力者会議で関係者評価をしていただきました。

保護者アンケートからは「子どもたちが園での遊びや生活を楽しんでいる」ことや「教職員が協力して保育に取り組んでいる」と感じてくださっていることがわかり嬉しく思います。自立心や健康・安全意識の育成については、家庭の姿では見えにくいということがわかりました。引き続き、園でも機会を捉えて気付きや学びにつなげていきたいと思えます。

自由記述欄にもたくさんご記入いただきました。地域の自然を生かした保育、飼育・栽培活動を通しての学び、異年齢の関わりや地域の人との関わりの充実…期待や評価、課題も含めた様々な声を聞かせていただきました。

協力者会議では、一人一人を大切に作る保育実践やショートミーティングによる保育カンファレンスが、子どもの育ちにつながっていることを評価していただきました。また、『ふるさと志賀』の取組を小学校とつなげていくことの大切さ、おはなしばんざいやおはなし広場など絵本にふれる機会が多いことが豊かな感性や情操を育てているなどのご意見をいただきました。園の取組が保護者や地域の学校園とつながり、互いに育ち合える関係性となることを期待しています。

今年度の成果や課題を次年度の園経営に生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。



保護者アンケートより
 ●「まずは自分を大切にすること、そうすることで人にも優しくなれる」に共感。
 ●「おなじ人はいない」の言葉がじんと響きました。
 ●夜、エコー写真をみたいと言ってくれたので一緒にみました。
 ●自分もこんなに小さな赤ちゃんだったことがあり、周りの愛情でここまで成長したと感じる講義で素晴らしかったです。 など



不審者訓練では木戸駐在所の後藤さんや北警察署の生活安全係長さんが指導をしてくださいました。想定は園外から子どもを無許可で撮影する人から(子ども)逃げる、(職員)守るでした。様々な想定をしておくことが大切だとわかりました。



元小学校長の中村克己先生が出前授業と子育て講座に来てくださいました。5歳児は『水』『科学の不思議』『プロの一年生』3つの話を授業と同じ45分間してくださいました。保護者向けには、『学びをつなぐ』をテーマに幼小の違いと同じ、子育てのポイントなどを話してくださいました。就学への期待が更に膨らみました。

子育て上の大切な

- あ・い・う・え・お
- あ あたか**
肌触りの温かさや惜しみないほほえみ
- い イメージ**
子どもの思い、本音を聞く
- う うまいほめことば**
褒め上手、励まし上手
- え 得手(得意技)**
得意なことを見つけて、大事に磨いていく
- お おわりに花咲く**
一つの区切りに結果はどうあれ、努力をねぎらってやる

中村先生がご紹介くださった一部です。



県幼児期教育センターが作成された学びの架け橋保護者向けリーフレットをお渡ししました。ぜひご一読ください。



3歳児が春探しの散歩に出かけました。並んで歩く姿が誇らしげです。



3・4歳児力を合わせてお別れ会の飾り付け。いるか組さん喜んでくれるかな。

保護者アンケート・幼稚園評価は志賀北幼稚園ホームページでもお知らせします。

